

年 組 名前：

布きれ活用 だるま作り

甲州の中村さん 入居施設に展示、寄贈も



布きれなどを使って色とりどりのだるまを作っている中村健一さん＝甲州市塩山西野原

甲州市塩山西野原のグループホーム「ひかり長屋」で暮らす中村健一さん(76)は、布きれや綿などを使っただるま作りに取り組んでいる。これまでに製作した数は200体を超え、施設内や部屋には赤や金、花柄など色とりどりでさまざまな大きさのだるまが並ぶ。地域の保育園児や訪れる人にプレゼントしていて、中村さんは「みんなに喜んでもらえたらそれでいい。これからもほちほちやっていたい」と笑顔を見せる。

施設によると、軽度の認知症が 外出する機会が減っていた時に、ある中村さんは2019年に入 妹から布きれを使っただるま作り所。新型コロナウイルス禍があった20年、 を勧められた。手芸は初めての経

＜土屋真佑子＞



土屋真佑子
鈴木なつ美

験で、最初は見本をまねして作っていたが、徐々に自分で布を選んだり顔をデザインしたりと、工夫を凝らしていくようになった。

「1日で完成させることもあれば3日に1個というときもあり、やりたいときに気分で作っている」という中村さん。スタッフや家族と一緒に100円ショップへ出かけて布やパーツを選び、手縫いやボンドで顔のパーツをつけるなど、一つ一つ表情が異なる個性豊かなだるま作りになっている。中村さんは楽しくてはまっている。こんなに続くと思っていなかった」とほほえむ。

9月にグループホームで開いた敬老会に山梨市の保育園児16人が訪れた際には、一人ずつ好きなだるまを選んでもらいプレゼントした。喜ぶ子どもたちの様子を見た中村さんが涙ぐむ場面もあった。

今後は地域の行事で展示するほか、来年の敬老会でも園児にプレゼントするなどを計画している。中村さんは「子どもたちに喜んでもらえるよう、作っていききたい」と話している。

(2024年11月23日付 山梨日日新聞17面)

問1 甲州市のグループホームで暮らす中村さんは、何を使って「だるま」を作っていますか。

.....

問2 中村さんが、「だるま」を作るときの、こだわりを教えてください。

.....

問3 作っただるまは、だれにプレゼントしていますか。

.....